

下関女子短期大学 桜山会だより

第 5 号
昭和 61 年 9 月 1 日

発行
下関女子短期大学
桜 山 会

☎(0832)-23-0338 (代)

第二十三回桜山会総会

～恩師を囲み懐かしいひととき～



理に一同上機嫌。期生順に恩師と円卓を囲み、まことに賑やかな話の花が咲き乱れました。

何時ながら盛り上がった雰囲気の中で一応閉会となり、そして再会を約束して後は好みのコースにそれぞれ分かれ、シーモール街へ自由散策と酒落れました。

年に一度のこの会に貴女もお友達を誘って出席なさってはいかがでしょうか。

次回の総会は七月五日(日)、北九州市(小倉ステーションホテル)の予定です。楽しい会にしたいと思っております。

同窓会に出席して

栄養科第七期生 吉岡やよい

七月十三日(日)、下関シーモールパレス、エメラルドの間にて松永理事長、武田学長をはじめ諸先生方十七名、同窓生四十一名が集い催されました。

総会では山中会長の挨拶に、桜山会の現状報告、及び十月に開催される河野学園創立六十周年記念事業についての協力の呼びかけがありました。新役員の紹介、会計報告、事業報告と続き、そして記念撮影。後は美味しい料

昨年小倉で開かれた同窓会に出席して、何人もの懐かしい顔に出会い、今年もきっと誰かに会える、と期待しながら、下関まで出かけてみました。駅前の発展ぶりに目を見張りながら、やっと会場を捜しあててみたものの、「あれー」と思うくらい出席者が少なく、がっかりしました。我々七回生は二人しか出席者がなく、それでも二人で何年分かのおしやべりをして

帰りにはコーヒーを飲んだり、一緒に買物をしたりして楽しい一日を過ごしました。一つ年上の先輩は、仲良しグループが毎年申し合わせて出席するそうで、揃ってため、背筋をピンと伸ばして「お久しぶりネ」を歌う姿には「さすがカンロックだな」と思ったりステキなグループだと羨ましく思ったりしたものでした。欠席した人達の返信葉書きを見るのも楽しみです。「えー彼女、あんな所に住んでいるの」とか「子供が三人も居るの」とか、懐かしい名前を見つけては、手紙でも書いてみようかという気になったりしました。この桜山会の総会は、子供連れも多く、ソフトで独特の雰囲気があります。先輩、後輩の皆さん、来年はぜひ時間を作って、一緒に参加しましょうよ!!

ところで、同窓会の二週間前に栄養科の江本先生の案内で短大を訪問しました。卒業後十五年も経っているのにそれを忘れてしまうくらい、教室や実習室や制服までもがそのまま、懐かしさがこみあげてきました。あの頃は六時門限、十時消灯の寮生活や厳しい学則を改善してもらおうべく、皆が燃えていた時代でもありました。厳しさや固苦しさだけしか味わなかったと思う反面、それだけに級友の結束は固く、結構楽しかった事を思い出します。今回、校門にはいるなり聞こえてくるピアノの音や、授業終了のチャイムの音、学生のざわめき等々を聞いて、のどかなあー懐かしいな、と思うと同時に、明るい雰囲気になっている、との印象も受けました。学生の長い丁寧な御辞儀に、そう言えばこんな教育も受けたのだ、と思い出しました。相い変わらぬ白と黒の制服は、二十年來変わっていないのではないのでしょうか。今の世の中、後輩達がちょっぴり可愛相な気がしました。良い伝統が続いているのは喜ばしく、明るく素直な雰囲気は大いに伸ばして欲しいと思います。そして優秀な後輩を世に送り出して欲しいと先生方にお願ひ致します。我々の年代は子育ても一段落して、これからもう一度社会に出て働いてみたいと考えている人が多いようです。チャンスさえあれば自分の経験を生かすべきです。そして素敵に年をとって、充実した幸福な人生を送れたら最高ですね。こんな事を考える私は年をとった証拠でしょうか?

会則について

第八章 第十四条

「正会員及び準会員は入会金として五千円納付すると同時に運営費として五千円を入会時に納入する。」となりました。

就任の御挨拶

学長 武田 道夫



本年三月、本協前学長が御都合により辞任されましたので、新学年度諸行事遂行のため、取敢えず学長代行に私が任ぜられました。

その後、松永理事長を始めとして全学教職員の方々の御支援を得て、何とか新学年度の援業が軌道に乗り、動き始めましたので、やれやれと安堵したのも束の間、今秋に実施される河野学園創立六十周年記念行事の準備が控えておりまして、それには「代行」では具合が悪かろうとの配慮で、七月一日、学長の辞令を頂くことになりました。私にとりましては、全くあれよあれよと言う間の変身でした。このような次第なので、桜山会会員の皆様に対して御挨拶を申し上げる心構えが、まだできていないのが私の本心でございます。

学園創立者河野タカ先生の教育理念を基本として、この二十五年間、本学の教育に努めて来られた諸先生方と、卒業生の皆様方が相

携えて探究・実践された結晶として、今日の本学の学風が培われて参ったものと考えます。一方、近年日本の社会情勢は、その高度成長と共に急速に変化、多様化して参りました。皆様方はその変革を身を以て体験されておられ、その英知と努力により、見事にその波を乗り越えて来られました。今日日本が目見ましい繁栄を遂げた原因の一つに、国民の平均教育レベルの高いことが挙げられておりますが、正に皆様方はその代表と申せると思います。

最近、教育改革の論議が盛んになっております。急激な経済成長と科学技術革新によってもたらされた社会ストレスの解消が、その一つの目的だと存知ます。本学でも、当然それへの対応が問われることとなります。具体的な教育改革としては、国際感覚の養成、女子職業の多様化と専門化への対応、共稼ぎや高齢化による新家庭秩序の考究、消費活動の合理化、新「良妻賢母」道の模索、男女雇用機会均等法への対応、など全学的な検討を要する課題が山積しております。しかし、これらの多くは、桜山会会員の大部分の方が、多かれ少なかれ実際に現在まで体験しておられる問題と存知ます。皆様方はこれらの問題を巧みに乗り切れ、社会の地位を確保して来ら

れました。その貴重な経験を母校の教育に反映して下さるよう積極的な御援助および御助言を賜りたいとお願ひ申し上げます。

また、二十才前後の人口組成が昭和六十七年をピークとして減少して行くことと予測されております。それを目前に控えて、本学はどのような方策を取るべきかは、目下の急務となっております。さらには、生涯に渉る教育の時代を迎えるに当り、社会人の再学習への受入れ体制の検討も必要になっております。皆様方の御要望にもお答え出来るような制度にしたいと考えております。なお、音楽科では既に研究生制度の形で、桜山会会員の方が勉強しておられます。

今秋十月には河野学園創立六十周年記念の式典と共に、演奏会が計画されております。その際、ベートーベン作曲「交響曲第九番」を九州交響楽団、本学および付属高校の音楽科学生・生徒、および市民（男性）の協演により、聞いて頂くことになっております。最近ほ兎角、大規模の第九の演奏が話題を提供しておりますが、今回は中都市の小さな短大らしい第九がお届け出来るように、目下練習中です。下関市、北九州市、および近隣にお住まいの桜山会会長の御援助を賜るようお願い申し上げます。

昭和60年度 桜山会決算報告書 (昭和60年4月1日～昭和61年3月31日)

科 目	収 入(円)	支 出(円)	付 記
前年度繰り越し金	282,743		
60年度運営費	735,000		5,000×147人
預 金 利 子	89,342		
通 信 費		401,960	はがき、切手等
総 会 費	274,500	402,870	第22回桜山会総会
活 動 費		163,018	役員会、交通費等
印 刷 費		94,870	桜山会だより、案内状
慶 弔 費		49,760	祝電、弔電、定演祝儀
事 務 費		34,439	文具、封筒等
卒 業 記 念 品		74,000	第23回入会者
来年度繰り越し金		160,668	
合 計	1,381,585	1,381,585	

新役員の紹介

第二十三回桜山会総会において昭和六十一年度の新役員が選ばれました。



会 長	副 会 長	会 計	監 査	常 任	監 事	顧 問	皆 様、 どうぞよろしくお願ひ いたします。
山中由美子 一期生	樋口和枝 六期生	横山 順子 十三期生	真鍋久美子 十九期生	熊須千代子 四期生	中島 房江 六期生	中島 美保 九期生	
				中島 優子 九期生	八道富美子 十六期生	中川美千恵 十八期生	
					中村比路江 二十二期生	武田 道夫 佐々木具慶	

クラス会だより

— 栄養科第八期生 —



夏休みに入って最初の土曜日、
シーモールの中にある「楓」に十
一人ほど集まりました。

五年前に開いたクラス会の時は、
皆小さな子供ででしたが、今回は
留守番の出来る年に成長された
様で、結婚の早かった人は中学生
のお母さんになっていました。

卒業以来初めて会った人もあり、
感激もひとしおでした。

近況報告、学生時代の思い出、
子供の事など会話がはずみ楽しい
半日を過ごしました。

— メッセージ —

(出席された方より)

☆現在子供二人(男：小五、女：
小四)、主人と主人の両親と同
居。自営で建築をしていますの
で事務を手伝っています。又今
度全員で集まれば幸いです。
林(清水)

☆子供二人(女：小四、幼)、主
人の四人暮らし。専業主婦にあ
きたらず、いろいろとアルバイト
しています。

中島(末松)

☆子供二人(女：中一、小五)、
主人の四人暮らし。

岡村(山内)

☆子供二人(女：幼、三歳)、主
人の四人。専業主婦。そろそろ
子ども手がからなくなつた
ので、いろんなことにチャレン
ジしたい。

小川(花田)

☆子供二人(男：小三、幼)、主
人の四人。専業主婦。

小川(花田)

☆子供二人(男：小三、幼)、主
人の四人。専業主婦。

小川(花田)

☆子供二人(男：小三、幼)、主
人の四人。専業主婦。

小川(花田)

◇お知らせ◇

来る九月七日(日)十一時
「楽々庵」(下関長府)にて家政
科家政専攻第十六期生(昭和五十
四年卒業生)のクラス会が催され
ます。

。六十周年記念演奏会
《ベートーベン第九交響曲他》
十月二十四日(十八時)

下関市民会館

【付記】

本年度総会にて会則第一章第二
条にのっとり、基本金より三十万
円を学園六十周年記念行事に寄付
する事になりました。

岡元(内野)
☆子供二人(男：小四、女：小二)
主人の四人暮らし。美容院の寮
で食事を作ったり洗濯などをし
ています。

丸永(中本)

☆子供三人(男：小四、小二、女
：四歳)、主人と主人の両親の
七人暮らし。専業主婦。

藤永(黒瀬)

☆兄(中一)、弟(小五)。やっ
と手もはなれ、友人にも恵まれ
楽しく過ごしています。広島県
の最西端です。ぜひ一度寄って
下さい。

高杉(児玉)

☆双児(男子・女子：小四)の子
供と三人暮らしです。父は入院
中。毎日頑バツテ働いています。
TELを下さい。

小野田(小野田)

☆子供(女子二人：中二、小六)、
主人の四人家族。勤めています
ので毎日が忙しくて…。ママさ
んバレーで頑張っています。

栗原(川崎)

☆(男：小五、小二)、舅と主人
の五人。専業主婦。次回のクラ
ス会まで減量に心がけます。お
楽しみに。

島中(中原)

。右のメッセージは、写真と一緒に
に本部に送られてきたものです。
「クラス会」：総会とはまた違
った楽しさがありますね。

近況報告

第一期生 () は旧姓

家政専攻 釘田 仁子(白石)

私も大阪に嫁いで十八年目にな
り、二人の子育ても終わろうと
しています。この四月より思い
きって講師を希望しましたと
ころ、運よく自宅より十五分位
の中学校に採用となり、卒業以
後始めて教壇に立つ事になり頑
張っています。

第十四期生

音楽科 江隅 照美(高倉)

卒業して早十年程過ぎようとし
ています。男の子二人に恵まれ
忙がしい毎日です。今でもほそ
ぼそとピアノを教えます。

第十四期生

音楽科 江隅 照美(高倉)

卒業して早十年程過ぎようとし
ています。男の子二人に恵まれ
忙がしい毎日です。今でもほそ
ぼそとピアノを教えます。

第十四期生

音楽科 江隅 照美(高倉)

卒業して早十年程過ぎようとし
ています。男の子二人に恵まれ
忙がしい毎日です。今でもほそ
ぼそとピアノを教えます。

第十四期生

音楽科 江隅 照美(高倉)

卒業して早十年程過ぎようとし
ています。男の子二人に恵まれ
忙がしい毎日です。今でもほそ
ぼそとピアノを教えます。

学校行事

。桜山祭(学園祭)

十一月八日～十日

。家政科染物作品展

十二月七日～十三日

シーモール泉の広場

。チャリテイション

十二月中旬位

下関中央公民館

。桜山会入会式

二月二十八日

。音楽科卒業演奏会

三月二十日

下関市民会館

創立六十周年

記念事業

本短大の母体である河野学園も
今年、創立六十周年を迎えます。

学園では、九州交響楽団を招請し
て「大合唱」を行う等、いくつか
の記念事業が催されるようです。

皆様、是非お誘い合わせの上、
御来場下さい。

。記念式典

十月十五日(十時)

。祝賀会

十月十五日(十二時)

。祝賀会

十月十五日(十二時)

。祝賀会

十月十五日(十二時)

編集後記

会員の皆様お変わりございませ
んでしょうか。

この「桜山会だより」も第五号
となり役員一同頑張っております。
現住所を変更された場合、本部
宛ご一報いただけると幸甚です。
ではまた次号で……。